

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和2年10月26日（月）～11月1日（日）

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	77人	92人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/(153万人/10万人))	5.03人	6.01人	2.5人未満 (※1)
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	0.84	0.86	<1(※2)
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	45%	45%	50%未満 (※3)
(5)	直近1週間の陽性率(※4) (陽性者数/検査実施人数)	3.89%	4.38%	—
(6)	入院中の患者数(※5) (疑似症患者を含む)	55人	54人	感染症患者受入病床 253床
(7)	入院中の患者のうち重症者数(※5) (疑似症患者を含む)	5人	8人	重症病床 30床
(8)	全療養者数(※5)(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計(疑似症患者は含まない))	131人	148人	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用

※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

※5 11月1日(日)現在の報告数（前週分は、10月25日(日)現在の報告数）

2 評価

令和2年10月26日（月）～11月1日（日）の川崎市内におけるモニタリング状況は、(1)新規陽性者数は前週の92人から77人（前々々週66人、前々週107人、前週92人）と、再び減少傾向となりました。その他の指標についても、(2)直近1週間の人口10万人あたりの累積新規陽性者数は、前週6.01人から5.03人、(3)週当たりの陽性

者増加比も、前週 0.86 から 0.84 と減少し、(2) についてはこのところと同様目安基準を上回っておりますが減少傾向に、(3) については前週よりさらに目安基準を下回りました。(4)直近 1 週間の感染経路不明者の割合は、前週も今週も 45%と不変で、目安基準を下回っています。(5)直近 1 週間の検査陽性率も、前週 4.38%から 3.89%と再び減少傾向となっております。(6) 入院中患者数は前週 54 人から 55 人と 1 名増加していますが、54 人→49 人→54 人→55 人と大きな変化はないといえます。(7) 入院中患者のうち重症者数は、前々週 9 人から前週 8 人、今週 5 人と減少、(8)全療養者数も前週 148 人から 131 人と減少しています。感染症患者受入病床は 253 床（前週までの 270 床から今週より 253 床へ変更）中 54 人入院、重症病床は 30 床（前週までの 28 床から今週より 30 床へ変更）中 5 人入院ですので、重症者を受け入れることのできる病床数としては余裕のある状況が続いています。

全国的、殊に北日本地方及び関東首都圏で微増傾向にある中、本市では 2 週続けて減少傾向がみられており、良いことではありますが、油断することなく注意を続けていく必要があります。なお欧米、殊にヨーロッパの国々での感染者の増加は著しく、海外のこととはいえ、その動向はやはり注意をしながら見ていく必要があります。

市民の皆様には、引き続き、三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時はマスクをつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなど、日常生活において適度な注意を続けられますようお願いいたします。

なお、市内 61 か所のインフルエンザ定点から毎週報告を頂いているインフルエンザの発生動向につきましては、第 43 週（10 月 19 日～10 月 25 日）の発生報告は 0 でした。また第 36 週（8 月 31 日～9 月 6 日）～第 43 週（10 月 19 日～10 月 25 日）の報告数は 1 に留まっています。ちなみに、昨年 2019 年の同時期、第 36 週（9 月 2 日～9 月 8 日）～第 43 週（10 月 21 日～10 月 27 日）の報告数は 328 でした。